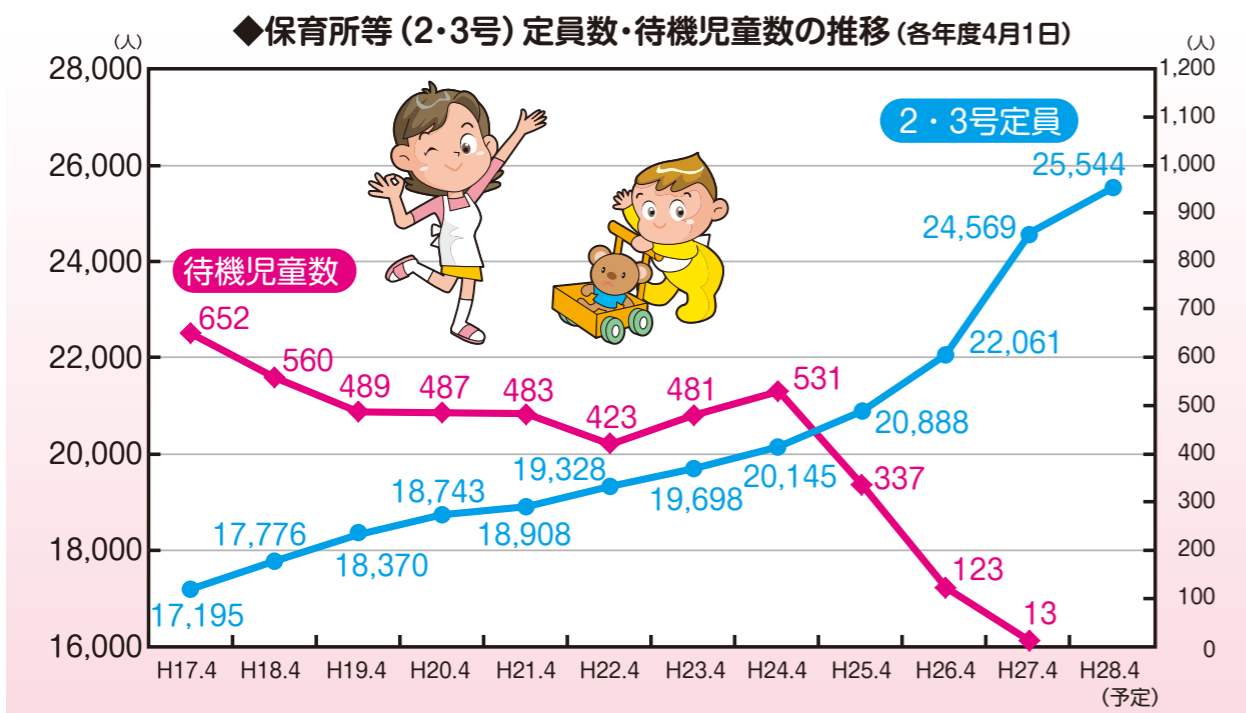


2016実績特集

安心の「子育て」、 「介護」を大幅推進

公明党市議団の提案で、神戸市では今年度予算で、市民生活の重要課題である「子育て」や「介護」、「障がい者福祉」を大幅に充実しました。そしてその財源を確保するため、神戸の経済を、市民生活を豊かにする具体的な景気対策を打ち出しています。

1 保育所待ちゼロ、あと一歩



今日まで公明党は、安心して子どもを託せる保育所の定員を急速に増やしてきました。さらに保育士の確保のため、その育成と待遇改善に取り組んでいます。

今年度、約700人の受け入れ拡大

安心して子どもを託せる保育所の定員を10年間で約8千人分増やしました。今年度では当初計画より多い2万5500人を超える定員となります。

学童保育も午後7時まで利用可

本年9月からすべての公設学童保育施設で午後7時までお世話します。また学校休業日には、朝8時からの開設を順次進めます。

保育士の確保に努める

保育園定員を増やすためには保育士の確保が不可欠。その処遇改善を進めるとともに、保育士の子どもへの保育園入園に配慮することになりました。介護人材の不足を解消するためにも同様に配慮することを求めています。

5 障がい者の人権を守る

特別支援学校の整備



西区井吹台に建設される特別支援学校のパース

西区に新しく神戸市立の特別支援学校と県立の特別支援学校が整備されます。とくに県立の特別支援学校は定員がオーバーしていた高等部を増やすために神戸市が用地を提供して建設されるものです。

燃料費助成制度を創設

長らく要望の強かった重度障がい者へのガソリン代の助成制度が、公明党市議団の粘り強い要請でようやく実現しました。これまでタクシー代の助成か公共交通機関のパスしかありませんでしたが、これで支援の幅を広げることとなりました。



6 福祉を支える経済力を

子育て支援も介護ももはや家族だけでは支えきれず、社会全体で支える仕組み作りが急務です。その財源を確保するために神戸経済を豊かにしなければなりません。

湾岸道路の建設スタート

大阪湾岸道路の六甲アイランド～長田区駒ヶ林区間の事業が約5千億円の予算で始まります。建設による経済効果、神戸の物流機能のアップで神戸の景気に大きく貢献。

人を魅了する都市再生に着手

三宮駅を中心に周辺ビルの再整備、バスターミナルの新設を行うとともに、北野や旧居留地、ウォーターフロント、中華街、元町に人々を誘う、魅力あふれる未来都市の創造に着手し観光客、買い物客で賑わう街を創ります。



都市再生に着手する三宮駅周辺

若者の就業・起業を強力に応援

神戸経済の次代を担うのは若者の力。産業界、専門学校や大学、金融機関、行政が一体となって新事業を創造する仕組みや開業を支援する事業をスタート。資金を提供する「神戸経済元気ファンド」も創設。さらに、中小製造業のものづくり人材の確保や育成の支援事業も新たに開始しました。



4 安心の老後を目指して

介護施設を増やす

住み慣れた地域で老後を送ることができるよう地域での医療、介護の仕組みを充実していますが、家庭での介護が難しくなったとき、時をおかずお世話になることができるよう十分な介護施設を用意することが大切です。そのために今年度から神戸市では、介護施設建設の募集を年1回から2回に増やし、施設の整備をスピードアップします。



特別養護老人ホーム等の拡充状況

第6期介護保険事業計画期間(平成27~29年度)における整備目標(施設定員数)

(単位:人)

介護施設の種類		平成28年4月1日現在 (開設済+整備中)	平成28年度 目標	平成29年度末 整備目標
介護保険 施設	特別養護老人ホーム(小規模特別養護老人ホームを含む)	6,091	6,391 (300)	6,661
	介護老人保健施設	5,531	5,631 (100)	5,731
認知症高齢者グループホーム		2,286	2,286 (0)	2,597
特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム・ケアハウス)		8,348	8,448 (100)	9,137
合計		22,256	22,756 (500)	24,126

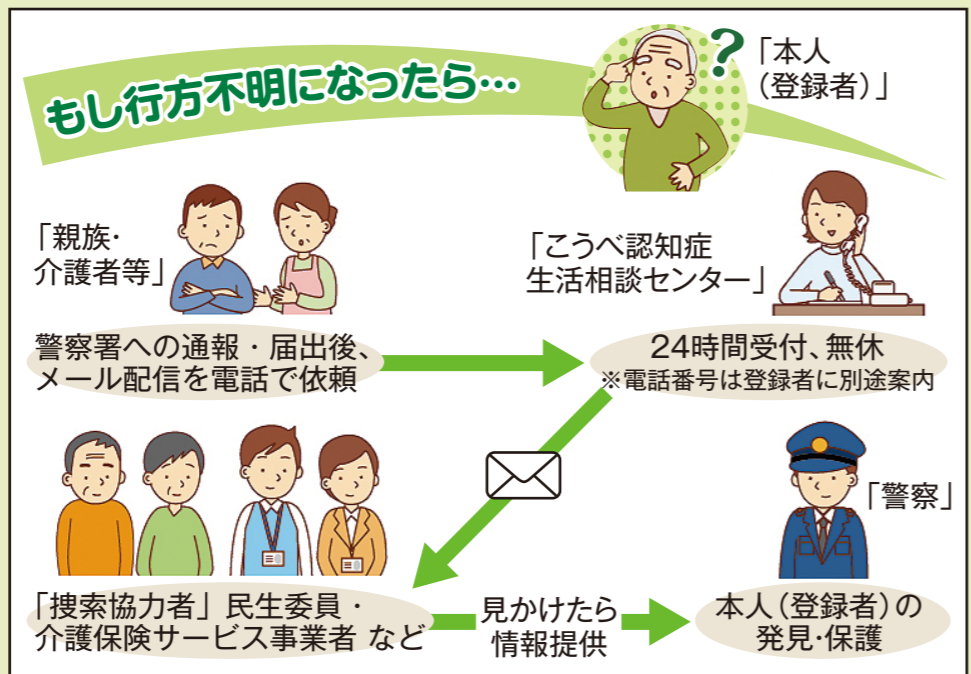
()内は平成28年度目標数 目標数の変更はありません

用地と介護人材の確保を

しかし、特別養護老人ホームを始めとして介護施設を建設するには適地が不足しています。そこで今年度から国の協力を得て、遊休化している国の公務員官舎をその用地として出してもらうことになりました。また、介護人材の確保についてもその処遇改善に努めています。

認知症高齢者を支える仕組みを

認知症高齢者を地域でいかに見守るか。いかに認知症を予防するかが今重要な課題になっています。とくに家族はもとより地域の住民や医療、福祉機関、警察が一体となって認知高齢者に対する理解を深めるとともに見守りを行う仕組みを作ることに取り組んでいます。



2 保育料を大幅軽減

国、県、神戸市の協力で、これまでの年齢制限を撤廃し、二人目半額、三人目を全額無料にする対象を大幅に広げました。国会から市会までの強いチームワークで実現した成果です。

一人親世帯はさらに負担軽く

一人親世帯では、年収約260~360万円で第1子から保育料を半額に、第2子以降を無料にすることができました。

新しい保育料 早見表

幼稚園(1号) 保育所(2-3号)	1人っ子		2人兄弟(2人目)		3人兄弟(3人目)	
	1人っ子	2人兄弟(2人目)	2人兄弟(2人目)	3人兄弟(3人目)	3人兄弟(3人目)	3人兄弟(3人目)
同時在園の子ども 1号は小学3年生以下も含む	無償	無償	無償	無償	無償	無償
生活保護	無償	無償	無償	無償	無償	無償
~360万円	全額	半額	全額 ↓ 半額	無償	半額 ↓ 無償	全額 ↓ 無償
~520万円	全額	半額	全額 ↓ 半額	無償	半額 ↓ 無償	全額 ↓ 無償
~640万円	全額	半額	一部 軽減 3歳以上 3,000円 3歳未満 4,500円	無償	半額	一部 軽減 3歳以上 4,000円 3歳未満 5,500円
640万円~	全額	半額	全額	無償	半額	全額

一部軽減: 保育料5,000円をこえる分に対して助成する金額です。

3 7月から子ども医療費も軽減へ

乳幼児・子どもの医療費助成が7月から大幅に拡大されることになりました。小学校入学前の子どもは所得制限が撤廃され、全員が医療費助成の対象になります。また、ひとり親家庭や障がいのある子どもも、通院、入院ともに助成を拡大します。



医療費の助成 早見表

	対象	子育て家庭全般	ひとり親家庭	障がい児家庭
外来	0~2歳	無料		
	3歳~未就学	上限400円		
	小学~中学	上限400円(所得制限あり) 例: 扶養者3人で年収860万円未満		
	高校	助成なし	上限400円 (所得制限あり) 年収413万円未満	上限400円 (所得制限あり) 市民税所得割 23.5万円未満
入院	中学生まで	無料(小中学生は所得制限あり) 例: 扶養者3人で年収860万円未満		
	高校	助成なし	上限1,600円 (所得制限あり) 年収413万円未満	上限1,600円 (所得制限あり) 市民税所得割 23.5万円未満